

第8章 UEC アライアンスセンター運営支援部門

はじめに

入居企業招致のための約2年間の準備期間を経て、2017年4月に40室全てが入居する状況でUECアライアンスセンターはスタートした。内訳は、外部からの入居20社、本学発ベンチャー企業8社、コンソーシアム1および本学の3研究センターである。

UECアライアンスセンター開始当初は、産学官連携センターの中にUECアライアンスセンター運営支援室が位置づけられていたが、2018年11月に木野茂徳理事がUECアライアンスセンター長となり、産学官連携センターと連携しつつも独立した組織となった。体制の詳細は次節で述べる。

2017年度末に1社が退居したが2019年3月に1社が入居し、2018年度末は再び満室となった。

UECアライアンスセンターは「協働と共創の場」を理念としており、運営支援室では初年度に引き続きワークショップを学内外オープンで毎月末開催し、入居者、本学教員、学生ならびに学外の関係者間の交流を図っている。

入居企業と本学教員との共同研究は、さまざまな形で始められているが、求めに応じて運営支援室が窓口となる場合もある。一部の共同研究では運営支援室も引き続き打合せに加わっている。

入居企業の入退居については、木野理事を委員長とする運営連絡会のもと入居企業との連絡業務を担っている。

日々入居者の要望への対応ならびに入居者へのサービス向上については、研究推進課、三菱倉庫株式会社、大成有楽不動産株式会社、株式会社ジェイ・エス・ビー（1FのUEC Port管理人室）と連携して取り組んでいる。

8-1 業務実施体制

UECアライアンスセンターがスタートした2017年度は、産学官連携センター内に3部門と並んでUECアライアンスセンター運営支援室が位置づけられていたが、2018年11月に、木野理事がUECアライアンスセンター長に、桐本哲郎教授がUECアライアンスセンター副センター長となり、UECアライアンスセンター運営支援室は、UECアライアンスセンターの中に位置づけられた。一方、産学官連携センター内にはUECアライアンスセンター運営支援部門が設置され、桐本教授がUECアライアンスセンター運営支援部門長となった。運営支援室メンバーである中嶋信生特任教授（運営支援室長）と小島珠世産学官連携コーディネータの2名は、UECアライアンスセンター運営支援部門を兼務している。

UECアライアンスセンターの運営は、桐本教授、中嶋特任教授、小島産学官連携コーディネータ、西田良太産学官連携コーディネータ（兼務）および研究推進課の井田直文、東城和子（2018年8月までは山下容子）の2名ならびにベンチャー支援部門副部門長安部博文特任教授の7名体制で進めた。各種イベントの準備ならびに諸課題解決のために毎金曜日に定例会議を開催した。

入居者の業務・居住環境に関する改善や課題解決は、本学から100周年キャンパスの管理を委託されている三菱倉庫株式会社、建物のメンテナンスを担当する大成有楽不動産株式会社、ならびに100周年キャンパスの管理を三菱倉庫株式会社から委託されている株式会社ジェイ・エス・ビーのUEC Port管理人室と連携して進めており、以下の会合で情報交換と課題の解決にあたっている。

- ・UECアライアンスセンター業務連絡会：入居者への連絡事項の周知と業務・居住環境に関する要望集約のために必要に応じて開催。UEC Port 管理人室も参加。
- ・研究推進課・事業者間ミーティング：三菱倉庫株式会社、大成有楽不動産株式会社、株式会社ジェイ・エス・ビーとの建物管理に関する打ち合わせ。

その他に運営支援室が参加している会議は、UECアライアンスセンター運営連絡会、入居者選考会議および毎月開催の産学官連携支援部門ミーティング（関連部門の業務報告と情報交換）である。

8-2 入居企業・研究センター等

2018年度に在籍している企業・研究センター等の入居時期、居室は以下の通りである。29企業のうち、本学発ベンチャーは8社（*）、学外からの入居は20社、コンソーシアム1となっている。

8-2-1 企業等

2017年4月入居

株式会社アニー	321号室
アルトリスト株式会社	510・514・518号室
アルファクス株式会社	317号室
株式会社インフォクラフト*	305号室
株式会社MNU*	314号室
株式会社菊池ハイテックサプライ	209・213号室
技術研究組合制御システムセキュリティセンター	505号室
株式会社光電製作所	417号室
先端レーザー樹脂溶着技術・推進コンソーシアム	501号室
株式会社筑水キャニコム	214号室
株式会社中山鉄工所	210号室
株式会社ナノテコ*	414・418・422号室
ネクストソリューション株式会社	313号室
株式会社早川地震電磁気研究所*	521号室
株式会社パンゴリン・ロボット・ジャパン	522号室
株式会社 Photonic System Solutions*	410号室
富士ソフト株式会社	509・513号室
株式会社フローベル	301号室
株式会社ホトロンホールディングス	413号室
マルチポート研究所有限責任事業組合*	322号室
モバイルクワイエット株式会社	309号室
株式会社ワイヤレスコミュニケーション研究所*	318号室

2017年5月入居

マルツエレクトリック株式会社	218・222号室
----------------	-----------

2017年6月入居

株式会社QUANTUM	310号室
株式会社タイムインターメディア	217号室

2017年8月入居

株式会社日進製作所	405号室
-----------	-------

2018年4月入居

株式会社B-STORM*	409号室
熔融塩技研株式会社	517号室

2019年3月入居

株式会社井口一世	221号室
----------	-------

8-2-2 研究センター等

2017年4月入居

コヒーレント光量子科学研究機構	421号室
CoPURA [ネットワーク型URA]	205号室
人工知能先端研究センター	201号室
先端ワイヤレス・コミュニケーション研究センター	401号室

8-3 共同研究実績

2018年度中に共同研究を実施した企業は14社(14社)。2019年度まで継続している案件を含む共同研究の総数は19件(20件)。総額は1,862万円(2,462万円)。産学連携コーディネータが支援した案件は19件中3件。ただし、カッコ内は前年度値である。

その他、奨学寄付が4件(5件)、総額168万円(1,201万円)、あった。

8-4 UEC アライアンスセンター ICT ワークショップ

第8回 UEC アライアンスセンター ICT ワークショップ

[日時] 2018年4月26日(木) 16:00～18:30

[プログラム] (1) 「インフォクラフトのオンラインストレージサービスPrimeDriveへの取り組み」

株式会社インフォクラフト シニアエンジニア 藤野 慎也 氏

(2) 「株式会社B-STORMの紹介」

株式会社B-STORM 代表取締役会長 志村 則彰 氏

(3) 「視覚情報処理」

大学院情報理工学研究科 情報学専攻 准教授 高橋 裕樹

(4) 「最近のファブ施設の動向とSTEM教材開発」

…秋葉原ものづくり工房「創造空間ナノラボ」を紹介しつつ

株式会社インフォコア 代表取締役 杉山 光裕 氏

情報処理・システム及びものづくりの分野を中心にご講演いただいた。

本学関係者や入居企業の他、関係自治体や支援機関、そして近隣の企業からも参加があり、44名が参加した。

第9回 UEC アライアンスセンター ICT ワークショップ

[日時] 2018年5月31日(木) 16:00～18:30

[プログラム] (1) 「QUANTUM社の概要と、電気通信大学との取り組みについて」

株式会社QUANTUM エンジニア 金子 陽介 氏

(2) 「製品開発の期間短縮、コスト削減のための新設計手法」

～設計の大幅な後戻りを低減する多目的性能の同時満足化～

大学院情報理工学研究科 機械知能システム学専攻 特任教授 石川 晴雄

(3) 「人の仕事を“つくる”ロボットのデザイン」

大学院情報理工学研究科 情報学専攻 准教授 松本 光春

(4) 「調布市産業労働支援センターのご紹介」

調布市産業労働支援センター 担当課長 川見 大 氏

新規事業創出、開発工程の最適化、ロボットデザイン等に関してご講演いただいた。

学生を含む本学関係者や入居企業の他、関係自治体や支援機関、そして近隣の企業からも参加があり、49名が参加した。

第10回 UEC アライアンスセンターICTワークショップ

[日時] 2018年6月28日(木) 16:00～18:30

[プログラム] (1) 「原理的に安全で核廃棄物を処理できる熔融塩炉の開発」

熔融塩技研株式会社 代表取締役 木下 幹康 氏

(2) 「アシストロボットの情報発信サイト「WORLD-ROBOTEC」のご紹介」

株式会社菊池ハイテックサプライ 代表取締役 木下 聡 氏

(3) 「車両IoTにおける計算知能」

大学院情報理工学研究科 情報・ネットワーク工学専攻 准教授 策力木格

(4) 「東京都中小企業振興公社の事業案内」

公益財団法人東京都中小企業振興公社

事業戦略部 経営戦略課 生産性向上担当課長 福田 友子 氏

原子力、ロボット、無線の分野等でご講演いただいた。

本学関係者や入居企業の他、支援機関、そして近隣の企業からも参加があり、42名が参加した。

第11回 UEC アライアンスセンターICTワークショップ

[日時] 2018年7月26日(木) 16:00～18:30

[プログラム] (1) 「産業用カメラの開発・製造と販売」

ACH2テクノロジーズ株式会社 代表取締役 清水 巖 氏

(2) 「電通大の研究力とJST超スマート社会への取り組み」

大学院情報理工学研究科長・情報学専攻 教授 田野 俊一

(3) 「[ヒト] に関する経営課題解決の提案」

株式会社コピア 代表取締役 向井 規浩 氏

この回より、講演者枠をインキュベーション施設(西11号館イノベティブ棟)入居の大学発ベンチャー企業にも拡大した。田野教授には本学が力を入れている大型研究プロジェクトを、向井氏にはスーパー連携大学院関連の企画等についてご講演いただいた。

学生を含む本学関係者や入居企業の他、支援機関、そして近隣の企業からも参加があり、40名が参加した。

第12回 UEC アライアンスセンターICTワークショップ

[日時] 2018年9月27日(木) 16:00～18:30

[プログラム] (1) 「Challenges for adopting AI technologies in real life systems.

実社会へのAI技術応用の挑戦について」

株式会社CodeNext 代表取締役 Khan Md Mahfuzus Salam 氏

(2) 「IoTセンサの東南アジア地区における活用」

大学院情報理工学研究科 情報・ネットワーク工学専攻 教授 石橋 孝一郎

(3) 「マイクロ波レーダなどの生体センサを用いた非接触バイタルサイン計測技術とその医療応用」

大学院情報理工学研究科 機械知能システム学専攻 助教 孫 光鎬

(4) 「医療機器開発コンサル、30年」

ケイ・アンド・ケイ ジャパン株式会社 代表取締役 久保田 博南 氏

大学発ベンチャー企業からAI技術の実社会応用について、2名の大学教員からエビ養殖や非接触バイタルサイン検出などへのIoTセンサ技術応用、学外からは医療機器開発のコンサルタントによるご講演をいただいた。

本学関係者や入居企業の他、支援機関、そして近隣の企業からも参加があり、42名が参加した。

第13回UECアライアンスセンターICTワークショップ

[日時] 2018年10月25日(木) 16:00～18:30

[プログラム] (1) 「研究室のニーズを形に」

プラスワッチ株式会社 代表取締役 日下部 正秋 氏

(2) 「機械学習分野 最難関トップ会議 NIPS/ICML の紹介とそれらに向けた研究の取り組み」

大学院情報理工学研究科 情報・ネットワーク工学専攻 准教授 笠井 裕之

(3) 「医療・バイオはあたらしいデジタルだ」

—医デジ化による超高精度な超音波診断・治療の実現—

大学院情報理工学研究科 機械知能システム学専攻 准教授 小泉 憲裕

(4) 「調布市商工会と工業部会の取り組み」

調布市商工会工業部会 部会長 霜山 秀昭 氏

各種試作開発受注、AI研究開発の世界最前線、ロボット医療、調布市商工会工業部会の活動と会員企業の紹介などそれぞれのテーマでご講演いただいた。

本学関係者や入居企業の他、支援機関、そして近隣の企業からも参加があり、36名が参加した。

第14回UECアライアンスセンターICTワークショップ

[日時] 2018年11月27日(火) 16:00～18:30

[プログラム] (1) 「暗号化制御：サイバーセキュリティ対策としての次世代制御システム」

大学院情報理工学研究科 機械知能システム学専攻 准教授 小木曾 公尚

(2) 「テクノロジーによる次世代保育の実現」

株式会社ChiCaRo CFO 山内 渉 氏

(3) 「変化にチャレンジ」

株式会社B-STORM 代表取締役会長 志村 則彰 氏

(4) 「エンドポイントセキュリティ対策について」

NTTアドバンステクノロジー株式会社 副主任技師 川村 昌平 氏

大学発ベンチャー企業の「遠隔保育AIロボット」、入居企業の「マイクロ波給電」、大学教員と学外から「情報セキュリティ対策技術」に関してご講演いただいた。

本学関係者や入居企業の他、支援機関、そして近隣の企業からも参加があり、43名が参加した。

第15回UECアライアンスセンターICTワークショップ

[日時] 2019年2月28日(木) 16:00～18:30

[プログラム] (1) 「声質変換技術が創る音声の未来とは」

株式会社voiceware 代表取締役CEO 田村 一起 氏

(2) 「国際コミュニケーションに基づくサイボーグ技術の開発とその応用へのアプローチ」

UEC 中国教育研究支援センター長・大学院情報理工学研究科 機械知能システム学専攻 教授 横井 浩史

(3) 「人の運動をサポートする技術～人間拡張とスポーツ、リハビリテーション～」

大学院情報理工学研究科 情報学専攻 准教授 野嶋 琢也

(4) 「東京都の受発注ウェブサイト「ビジネスチャンス・ナビ2020」の紹介」

公益財団法人東京都中小企業振興公社

事業戦略部 中小企業世界発信プロジェクト事務局 次長 藤本 仁和 氏

声質変換、サイボーグ応用、運動支援VR技術、他に際してご講演いただいた。

本学関係者や入居企業の他、支援機関、そして近隣の企業からも参加があり、39名が参加した。

8-5 協働と共創のためのイベント

8-5-1 一周年記念セレモニー

2018年5月21日（月）17:00より、100周年記念ホールにて一周年記念セレモニーを開催した。セレモニーは福田学長の挨拶で始まり、木野理事からの報告、株式会社中山鉄工所前田俊一様とモバイルクリエイティブ株式会社山口博光様から活動事例紹介があった。最後に中野和司理事より本学の新体制が紹介された。

パーティは株式会社B-STORM志村則彰様の乾杯で始まり、歓談後、桐本副センター長の中締めで閉会となった。

8-5-2 UEC Port フェスティバル

2018年9月28日（金）14:00より、創立100周年記念事業の1つとして『UEC Port フェスティバル』を100周年記念キャンパス「UEC Port」にて開催した。

第一部は学生が企画を担当し、100周年記念ホールでゲーム大会「ぷよぷよUECカップ」を開催し、中庭の交流広場で「留学生フードコーナー」を出展した。

第二部はUECアライアンスセンターが企画を担当し、18:00よりUEC Portの学生宿舎「ドーム友達・絆」、職員宿舎「ポートロッジ」及びUECアライアンスセンター入居者を中心に、学長をはじめとする教職員、学生が参加し、交流広場で「100周年キャンパス交流会」を開催した。

8-5-3 新年会

2019年1月17日（木）17:30より、100周年記念ホールにおいて新年会を開催した。福田学長による乾杯で始まり、歓談に続いて、入居企業のネクストソリューション株式会社依岡由希子様、アトリスト株式会社橋田浩一様、ならびに産学官連携センター有志によるバンド演奏の披露があり、木野理事の挨拶で会が終了した。入居企業、支援機関、電気通信大学発ベンチャー企業及び大学関係者など64名が参加し、活発な交流が行われた。

8-5-4 各種セミナー等

UECアライアンスセンターの入居者との協働・共創の取り組みにより、多様な形のセミナーやイベントが催された。

◆クラウドハンズオンセミナー®電気通信大学（UEC）

【日時】2018年6月30日（土）13:00～16:00

【主催】産学官連携センター

【共催】富士ソフト株式会社

富士ソフト株式会社にご協力いただき、クラウドハンズオンセミナーを開催した。最大手のAmazon Web Services (AWS) を実際に操作しながらクラウドサービスを学ぶことができるハンズオンセミナーで、無料ということもあり、募

集人数を超える申し込みがあった。当日は24名の学生がAWS資格保持者のサポートを受け、Webサイト開設までのノウハウを学んだ。

◆プログラミングでマイコンレーサー2を走らせよう!! (セミナー)

[日時] 2018年8月25日(土) 14:00～17:00

[主催] 株式会社マルツエレクト、株式会社KAMAKEのすすめ

[後援] 産学官連携センター

株式会社マルツエレクトが主催し、プログラミング教室が開催された。「マイコンレーサー2」を使ったプログラミング学習体験会で初心者向けに行われた。

◆第63回調布市商工まつり出展 (イベント)

[日時] 2018年10月7日(木)、8日(金)

[主催] 調布市商工会

UECアライアンスセンターの施設概要と、入居企業の中からマルツエレクト社のロボットや電子機器、タイムインターメディア社のナンプレを展示し紹介した。

2日間で約100組の来場者がUECアライアンスセンターの展示に訪れた。

◆マイコンレーサー プログラミングSCHOOL (セミナー)

[日時] 2018年10月20日(土) 14:00～17:00、30日(火) 17:00～18:30、11月13日(火) 17:00～18:30、23日(金) 9:00～12:30

[主催] 株式会社マルツエレクト、株式会社KAMAKEのすすめ

[後援] 産学官連携センター

株式会社マルツエレクトが主催し、4日間のプログラミングSCHOOLが開催された。「マイコンレーサー2」を使ったプログラミング学習体験会で、参加人数は少なかったが県外から通う熱心な参加者がいた。

◆マルツロボットフェア (イベント)

[日時] 2019年2月2日(土) 11:00～17:00

[主催] 株式会社マルツエレクト

[後援] UECアライアンスセンター

マルツエレクト株式会社が開催したマルツロボットフェアは、100周年記念ホールで行われたメインイベント、近藤科学株式会社企画のKONDO BATTLEや、展示・交流スペースでのロボットの操縦体験コーナーや電子工作の体験コーナーなど、盛りだくさんな内容で行われた。

当日はロボットに興味を持つ幅広い層の方が来場し、総勢100名以上が参加する大変盛況なフェアとなった。

8-6 入居企業への採用支援

8-6-1 アルバイト情報の掲示・掲載

本学学生のアルバイトを希望する入居企業に対して、UEC アライアンスセンターのホームページと学生宿舎ドーム友達、ドーム絆の掲示板上に募集要項を掲示するサービスを開始した。掲示期間は1カ月とした。

8-6-2 就職説明会での UEC アライアンスセンター入居企業の紹介

2019年1月22日（火）、就職支援室がB棟202教室にて開催した第10回就職説明会の終了後、学部3年生、大学院博士前期課程1年生を中心とした約50名の参加者に向けて、中嶋運営支援室長がUEC アライアンスセンターと採用を計画している入居企業10社を紹介した。

8-6-3 新卒採用とアルバイト採用活動に関する説明会

2019年3月8日（金）、100周年記念ホールにおいて、2019年度に運営支援室が計画している入居者の採用活動支援策を中嶋運営支援室長が説明した。内容は、新入生オリエンテーションにおけるUEC アライアンスセンターと入居者の紹介、主に新入生に向けたアルバイト説明会、ならびに入居企業が属する業界や業種がどのようなものであるか入居企業が学部3年生、大学院博士前期課程1年生に向けて紹介する、就職支援室主催の「業種研究セミナー」、「業界研究セミナー」である。17社が本説明会に参加した。

8-7 業務・生活環境改善の取り組み

8-7-1 100周年記念ホール

100周年記念ホールのAV設備に、電源カットリレー等の設備が無いとの消防点検時の指摘を受けて、電源カットリレー設置の改修工事を行った。

8-7-2 その他

他フロア入居企業との交流を容易にするために、3～5Fのフロアに出入り可能なセキュリティカードの貸出を開始した。

8-8 100周年記念ホールの利用状況

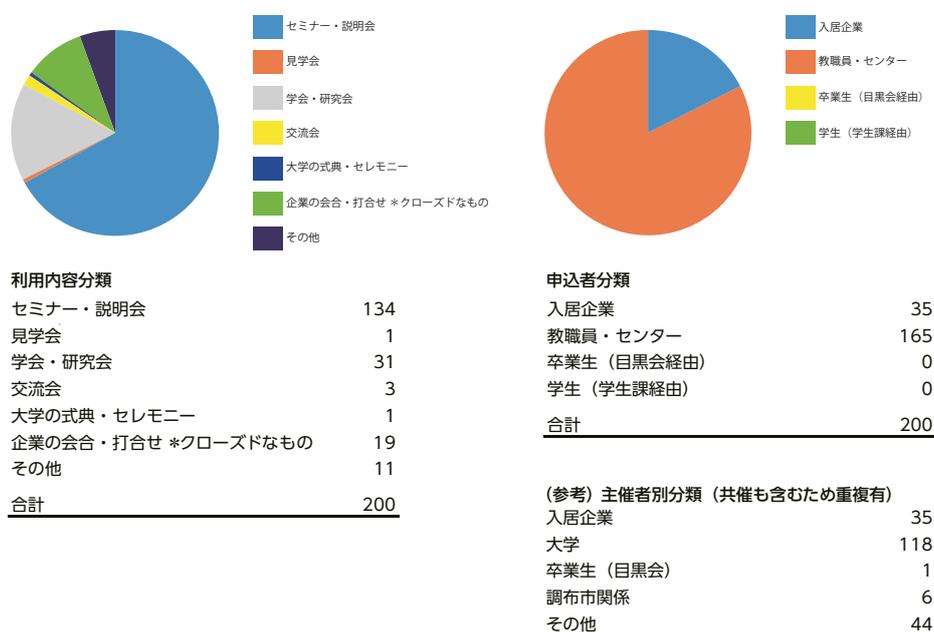
UECアライアンスセンターの1Fには、両サイドが全面窓ガラスで開放的な、机使用で40名余、椅子のみで90名余り収容可能なホールが設けられている。関係者の情報発信、交流の場として適切な利用がなされるように、運営支援室では、その利用を管理している。利用申込みの窓口は、以下の通りである。

入居者、教員、インキュベーション施設入居の電気通信大学発ベンチャー認定企業：運営支援室へ直接

学生：学生課

本学OB：目黒会同窓会

本年度の利用状況を以下に示す。例としては、ICTワークショップ・各種イベントに加え、VB（ベンチャービジネス）セミナー、子供向けプログラミング教室、作文教室などに利用された。



8-9 UECアライアンスセンターの見学対応

省庁や企業、他大学などよりUECアライアンスセンターや100周年キャンパスへ見学依頼があり、運営支援室が対応した。

2018年

7月31日（火） 青山学院大学 学長、副学長（2名）、先端情報技術研究センター長

9月11日（火） 千葉大学 URA（4名）

9月25日（火） 株式会社ブリジストン事業企画開発部 正宗忠部長 他2名

2019年

2月14日（木） 東京都都市整備局都市づくり政策部多摩開発企画 須田久喜担当課長 他2名

8-10 その他

8-10-1 防災訓練

2019年2月19日（火）9時30分よりUEC Port 防災訓練が実施された。UECアライアンスセンターからは14室22名の入居者が参加し、避難訓練・消火訓練・AED講習を体験・見学した。